

研究例会、教職員一覽

(2013 年 4 月～ 2014 年 3 月)

1. 研究例会など

第 65 回 『語彙の学習・教育について JSL 教師が知っておくとよいこと』

松下達彦氏

2014 年 2 月

2. 教職員一覧

日本語教育研究センター教員（教養学部と兼任）

日比谷潤子

佐藤 豊

田中 和美 日本語教育課程 主任、日本語教育研究センター長

2013 年度夏期日本語教育ディレクター及び

『ICU 日本語教育研究』編集委員長

半田 淳子

鈴木 庸子

平田 泉

尾崎久美子

金山 泰子 日本語教育課程 副主任

小澤伊久美 2013 年度夏期日本語教育教務主任・『ICU 日本語教育研究』編集委員

数野 恵理

松井 咲子

桜木ともみ

日本語教育研究センター嘱託

朝倉 怜子 日本語教育研究センター事務

『ICU 日本語教育研究』 投稿規定

1. 資格：ICU 日本語教育・日本語学関係の常勤・非常勤教員および編集委員会が認めた者。
共著の場合は、筆頭執筆者が上記の資格に該当すること。なお、依頼原稿はこの限りではない。
2. 投稿の種類：
 - (1) 研究論文…日本語・日本語教育およびその関連分野に関する独創的な研究で、未発表のもの。
 - (2) 報告…授業報告、海外機関の視察報告など。
 - (3) 書評・紹介など。
 - (4) 特集…必要に応じて企画する。
3. 執筆要項：
 - (1) 使用言語は、日本語または英語とする。
 - (2) 原稿の冒頭に、表題（センタリング）、著者名（右づめ）を入れる。
 - (3) 和文は 12,000 字から 20,000 字程度、英文は 3,000 語から 5,000 語程度で 15 ページまでとする。字数・ページ数には論文本文だけでなく、論文名、キーワード、要旨、図表・参考文献などの情報すべてを含め、下記 (4) の書式に従って執筆し 15 ページをこえないこととする。
 - (4) 原稿は横書きで、余白は上下 3.5cm、左右 3cm あけ。1 行 39 字前後、1 ページ 39 行。A4 サイズの紙に印刷したものを提出すること。採択後、電子ファイルでの提出が必要。
 - (5) 研究論文には、論文の要旨（和文 600 字以内、英文 150 語以内の双方）とキーワード（5 語以内）を添付すること。
 - (6) 参考文献と注は終わりにまとめてつけること。脚注とはしない。
 - (7) 参考文献の書き方は、学会誌『日本語教育』『言語研究』『日本語の研究』のいずれかによる。
 - (8) 印刷した原稿には、鉛筆で 1 ページの表に日付と原稿の種類別を、裏にページの番号を記入すること。
4. 審査：編集委員会が採否を決定する。
5. 原稿提出先：ICU 日本語教育研究センター事務室（第二教育研究棟 104 号室）
6. 提出期限：毎年 11 月末日
7. 電子化に関する権利：本センターは、本誌に掲載される全ての原稿を電子化媒体により複製・公開・送信する権利、あるいはその複製・公開・送信を外部機関に委託する権利を有する。

（1994 年 2 月 15 日決定、1998 年 3 月 19 日改訂、2004 年 6 月 30 日第 2 回改訂、12 月 21 日第 3 回改訂、2006 年 1 月 24 日第 4 回改訂、2007 年 12 月 18 日第 5 回改訂、2008 年 10 月 29 日第 6 回改訂、2009 年 12 月 9 日第 7 回改訂）

執 筆 者 紹 介 (執筆順)

田 中 和 美	ICU 日本語教育課程主任	日本語教育研究センター長	教授
小 澤 伊久美	ICU 日本語教育課程	講師	課程准教授
嶽 肩 志 江	横浜国立大学	留学生センター・教育人間科学部	非常勤講師
坪 根 由香里	大阪観光大学	観光学部	准教授
半 田 淳 子	ICU アーツ・サイエンス学科	言語教育	上級准教授
数 野 恵 理	ICU 日本語教育課程	特任講師	

ICU 日本語教育研究 10

ICU Studies in Japanese Language Education 10

発行年月日 2014 年 3 月 31 日

編 集 『ICU 日本語教育研究』編集委員会

編 集 委 員 田中 和美

小澤 伊久美

発 行 所 国際基督教大学日本語教育研究センター

〒181-8585

東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL 0422-33-3501

代表者 田中 和美

印 刷 株式会社 プリントボーイ

〒157-0062

東京都世田谷区南烏山 6-24-13

TEL 03-3309-1861

FAX 03-5315-3414